



札幌市自立支援協議会 こども部会 ニュース NO.13

第13号（2026年3月）発行

札幌市自立支援協議会
子ども部会事務局

令和6年度子ども部会のまとめ（斎藤規和部会長）

昨年10月4日に「子ども発達支援者 支援力向上セミナー初級」を、11月8日には「支援力向上セミナー中級」を対面で開催しました。発達支援の基礎、発達アセスメント、支援計画の作成、親御さんの生の声、参加者の交流等、有意義な研修だったと思います。

本年1月28日には児童発達支援センター会議との共催で「インクルージョンを考えてみよう」研修会を開催し、80名の支援者に参加していただきました。開催にご尽力いただいた運営委員の皆さま、札幌市の担当者様に心から感謝申し上げます。教育や福祉のエクスクルージョン（分離・除外・排除）の現状からいかなるプロセスを経てインクルージョンは実現できるのか？「イタリアではバザリア法から40年かかった」という話、私はこれを「希望」と受けとめました。



関連会議からの報告

子ども子育て会議から

札幌市子ども子育て会議では、増え続ける学校でのいじめに対して、児童・生徒・教員に対する人権教育、包括的性教育の実施を、また、措置解除後の若者支援として社会的養護自立支援拠点事業の早期実施を訴えました。里親の認定について、改善を要望いたしました。

（斎藤委員）

社会的養護・札幌市要保護児童対策協議会から

社会的養護関係は、令和6年度の子ども部会主催のセミナーや研修会に、社会的養護関係施設の方々にご参加いただき、学びを深めました。次年度は、事例報告やグループワークなどを通じて、皆さまと一緒に社会的養護が必要な児童の支援について考えていきたいと思っております。

札幌市要保護児童対策協議会は、毎年、春に全体会が実施され、今年度も参加し、意見を提案しました。次年度も、例年通り参加し、意見を提案します。

（河内委員）

札幌市医療的ケア児支援検討会から

令和6年9月18日と令和7年2月26日に開催。9月の検討会では医療的ケア児に関する札幌市の事業一覧を共有のうえ、令和6年10月に開始された北大病院を窓口とする小児慢性特定疾病児童等自立支援事業や訪問看護を利用した医療的ケア児のレスパイト事業について情報共有しました。2月の検討会では、相談支援及び医療的ケア児者コーディネーターの課題について意見交換を行っています。

（事務局）

令和6年度各区子ども部会の活動報告



《 手稲区 》

令和6年12月に「通える児童デイサービスが少ない子どもたちを受け入れるための勉強会～報酬改定と事例報告を交えて～」を開催。医療的ケア児・重症心身障害児・強度行動障害児の報酬算定に関する行政説明と3事業所からの事例報告を受けた。参加者55名。

《 清田区 》

令和6年9月13日に児童に関わる事業所や相談支援事業所を中心とした交流会を開催。令和7年1月29日には札幌市自閉症・発達支援センターおがるの多田様を講師としてお招きし、研修会を実施。参加者同士のフリートークの場を設けて交流を深め、横のつながりを構築する活動を1年間通じて行った。

《 白石区 》

現在活動休止中ですが活動再開準備のため、令和7年2月19日「こんな時どこに相談したらいいの？～家児相のお話から考える～」と題し、家児相担当係長の講話とグループワークを行った。管理者・児発管を中心に38名が参加し、活発な意見交換の場となり、次につながるヒントが得られた研修会となった。

《 北区 》

23人のメンバーで毎月第三月曜日18:30～20:00に情報交換の後、4つの企画グループに分かれ活動。

- ・ イベントチームは、8月にモルック大会を行い、11事業所75名の参加
- ・ 事業所説明会は10月に開催。6つの説明事業所に対し来場人数は学生2名相談室1名事業所5名参加
- ・ 学習会は11月に虐待についてハイブリッドにて開催。会場22名オンライン31名の参加
- ・ 支援者カフェはグループワーク形式で日頃の悩みをフリートークで話し合う形で9月と2月の2回開催、1回目41名、2回目13名の参加

《 厚別区 》

令和6年7月17日、通所支援8事業所が区内の学校・幼稚園保育園・行政・医療機関・相談室・区内通所支援事業所職員あわせて70名程に対し、事業所説明会を行った。説明会後は自由に交流する時間を設け、地域における顔のみえる関係づくりにつなげることができた。

《 豊平区 》

子どもだけに特化した地域部会内での活動は今年度行っていない。

《 西区 》

“『子どもたちの笑顔』ともに育む地域へ。西区子ども部会から可能性の種をまこう”をキャッチフレーズに活動。令和6年7月19日に5つのテーマ別でグループワークの交流会を開催。参加者96名。令和7年1月17日には障がいを持つお子さんを育てる保護者の方々をお呼びしてシンポジウムを開催。参加者69名。

《 中央区 》

「不登校児童への支援」について、実際の支援内容や支援をする中での困りごとを発表する実践発表会及び意見交換を開催。支援の成功例・失敗例をあげることで、今後の支援の参考となる時間となった。

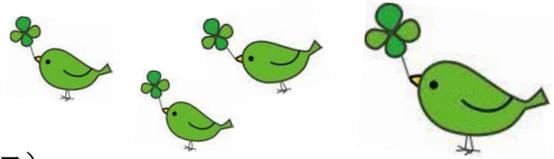
《 東区 》

ウェルトークと題した学習会を2回行った。9月に「インクルージョンの実現に向けて考えてみよう！」11月に「意思決定支援と合理的配慮を考えてみよう！」と題して参加者のペアトークで交流と学びを深め合った。次年度も有意義な学びの機会を提供していきたい。

《 南区 》

区内の障がいのある子ども達の支援や現状や課題等を見出して、情報共有や事業所間交流、茶話会、研修会、事例検討会などを行い、みんなで障がいのある子どもと家族をどのように地域で支えていくかを楽しく工夫して考えている。

令和6年度 子ども部会活動報告



●令和6年度 発達支援者支援力向上セミナー（初級コース）

昨年度の内容が好評であったため、今年度も対面研修にて「発達支援」をテーマに、社会福祉法人 麦の子会の金澤俊文氏に発達支援についての講義、また札幌市手をつなぐ育成会の一様さゆり氏に保護者が抱く想いをそれぞれお話ししていただき、その後、グループワークを行い、情報共有しました。発達支援の基礎理解や保護者の声を聴く貴重な場となり、グループワークでは、他事業所の取り組みを聞きながら、楽しく情報交流できました。

多くの方々のご参加、ありがとうございました。

●令和6年度 発達支援者支援力向上セミナー（中級コース）

今年度は初級だけではなく子ども（児童）の発達支援経験が3年以上の職員、児童発達支援管理責任者、管理者の方向けの中級研修を開催しました。「子どもの発達を理解・支援するためのアセスメントについて」というテーマで東北大学名誉教授の本郷先生をお呼びし、講義と子どもの行動の背景の理解の方法から支援目標を設定する方法についてグループワークを行いました。事例検討を通して実際の事業所で行っている支援を共有したり、他の事業所の方の実践方法を聞くことが出来る良い機会となりました。

多くの事業所の皆さんに参加していただきありがとうございました。

●札幌市自立支援協議会子ども部会・札幌市児童発達支援センター会議共催 全体研修

2025年1月28日（火）に札幌市自立支援協議会子ども部会（以下子ども部会）・札幌市児童発達支援センター会議共催の研修「インクルージョンを考えてみよう」を札幌市役所にて開催いたしました。基調講演として子ども部会北川副部長より、海外視察から得た最新のインクルージョン事例を発表していただきました。第二部はトークセッションとして子ども部会斎藤部長にも加わっていただき、海外の事例を踏まえた上で札幌でのインクルージョンについて議論しました。子ども家庭庁としてもインクルージョンの推進を進めている中、発達支援の中でのインクルージョンについて、とても参考になったと思います。

たくさんのご参加ありがとうございました。

◎札幌市子ども発達支援ガイドブック（乳幼児版）を改訂・発行しました。

